

# 図書室だより

No.14



発行：豊富町図書室（ふらっと★きた情報交流コーナー）／平成28年1月28日  
 お問い合わせ：豊富町教育委員会 社会教育係 Tel：82-1355  
 ふらっと★きた Tel：82-2211  
 パソコン・スマートフォンで検索 → <http://www.lib-finder.net/toyotomi/>

## 図書室の利用について

利用できる時間：9:00から21:00まで  
 貸出し、窓口受付：10:00から20:00まで  
 貸出冊数：お一人様10冊まで  
 返却期限：2週間（延長可能です）

## 図書室でこんなことができます ～道立図書館編～

豊富町図書室では北海道立図書館の支援をうけて、小説や絵本など年間約1,200冊もの図書を借り受けています。その他、イベント開催時などの展示用図書の借り受けや、豊富町図書室に置いていない図書の借り受けも個別に対応しています。道立図書館に置いてある本も調べることができますので、お気軽に図書室スタッフまでお尋ねください。

## 話題の新刊

ふるさと応援寄付金で購入した本も続々入荷中！

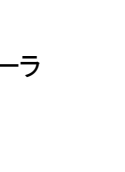
### 絵本・児童書

- ☆チャレンジミッケ!〈9〉タイムトラベル
- ☆バケモノの子 角川アニメ絵本
- ☆絵本 星の王子さま／サンテグジュペリ
- ☆プリンちゃんとおかあさん／たかおゆうこ
- ☆もりのやきゅうち一む ふあいた一ず／堀川真
- ☆神の守り人〈来訪編・帰還編〉／上橋菜穂子
- ☆IQ探偵シリーズ／深沢美潮
- ☆U-CANのありがみなんでも大百科
- ☆ドラえもん わくわくひみつ道具 デラックス
- ☆宇宙、動物、乗り物、物語、水の国の迷路／香川元太郎



### 小説

- ☆下町ロケット2 ガウディ計画／池井戸潤
- ☆人魚の眠る家／東野圭吾
- ☆掟上今日子の備忘録／西尾維新
- ☆颯風(ぐふう)の王／河崎秋子  
三浦綾子賞受賞の感動作!!
- ☆Aではない君と／薬丸岳  
殺人を犯した息子に父は何を思うか。
- ☆陽気なギャングは三つ数えろ／伊坂幸太郎  
大人気シリーズ第三弾！
- ☆砂の王宮／楢周平
- ☆幸腹な百貨店／滝川秋美
- ☆涙があふれて止まらないお話／浅田宗一郎
- ☆この君なくば／葉室麟
- ☆満つる月の如し 仏師・定朝／澤田瞳子
- ☆お鬚番承り候シリーズ／上田秀人
- ☆ボーイミーツガールの極端なもの／山崎ナオコ
- ☆ライオンの棲む街～平塚おんな探偵の事件簿1  
／東川篤哉



### 生活

- ☆もしも悩みがなかったら／水野敬也
- ☆娘になった妻、のぶ代へ／砂川啓介
- ☆農家が教える産地のイチおし旬レシピ
- ☆バスケット編み／嶋田俊之
- ☆主婦になってはじめてわかった主婦のこと
- ☆面倒だから、しよう／渡辺和子
- ☆10秒顔ヨガパーフェクトプログラム
- ☆もっと！北海道民のオキテ／たいらさおり
- ☆考えない台所／高木あみ
- ☆子どもと楽しむ！週末の冒険
- ☆昭和史の10大事件／半藤一利、宮部みゆき
- ☆世界でもっとも貧しい大統領 ホセ・ムヒカの言葉



## Happy Valentine & White Day

2月、3月は恋の季節♪  
 バレンタインデーとホワイトデーに合わせ、胸キュン青春系恋愛小説や、ドキドキハラハラな大人の恋愛小説を読んでみませんか？  
 他にも、あなたの恋愛運を知る占いの本や、チョコなどのレシピ本、ラッピングの本、チョコと一緒にいただきたいコーヒーやお酒の本なども紹介します！  
 恋愛小説を読んで、ときめきましょう♪



## ふら★オシ本

『まあ、空気でも吸って-人と社会：人工呼吸器の風がつなぐもの』  
 海老原宏美、海老原けえ子



脊髄性筋萎縮症Ⅱ型という進行性の先天性障害をもつ著者の半生記と、小さいときから「障害」を言い訳にすることを許さず、他の兄弟同様スパルタで育てた母の子育て記。障害が変化・重度化することを前向きに捉え、地域で人と人をつなぎながら豊かな関係性を生きる姿が爽快な作品。  
 著者の海老原さんは、私の高校時代の同級生でした。クラスが違った彼女と知り合うきっかけになったのは、車いすの介助でした。文中にある”人サーフィン”で彼女と繋がった一人です。卒業後どうしているのかは、人づてに聞いてはいましたが、障害者が社会にかかわるといふことに関して、彼女の体験談を通して、改めて考えるきっかけになりました。

<利用者Yさん 37歳>



『太陽は動かない』 『森は知っている』  
 著/吉田修一

「太陽は動かない」は、007のジェームズ・ボンドの如くクールでカッコいい、産業スパイの主人公（鷹野）がアジアを駆け巡るエンターテイメント作品です。3年後に出版された「森は知っている」では、過去にさかのぼり、鷹野がスパイとして育てられた青春時代を描いています。壮絶な過去を持つ彼が、どうしてスパイになったのか。とても残酷なストーリーですが、友情・淡い恋心の場面では、胸が熱くなりました。どちらを先に読んでもOKです！ハードボイルドで大掛かりなアクション映画を見ているような小説に、ドキドキワクワクでした。シリーズ続編が待ち遠しい作品です。

<図書室スタッフ S・K>